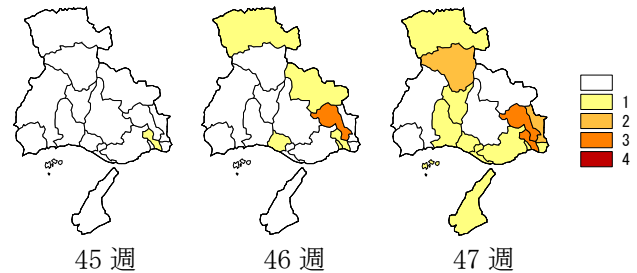
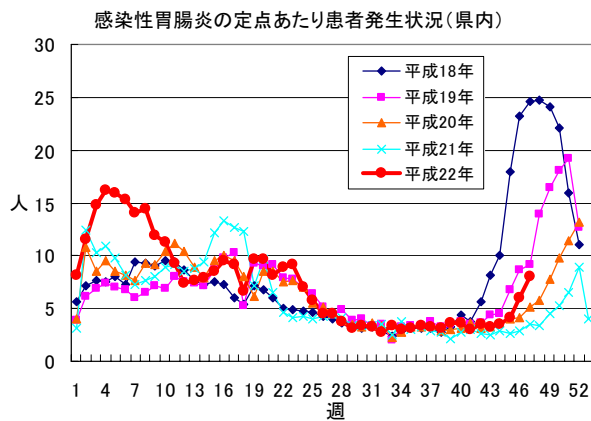


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

感染性胃腸炎

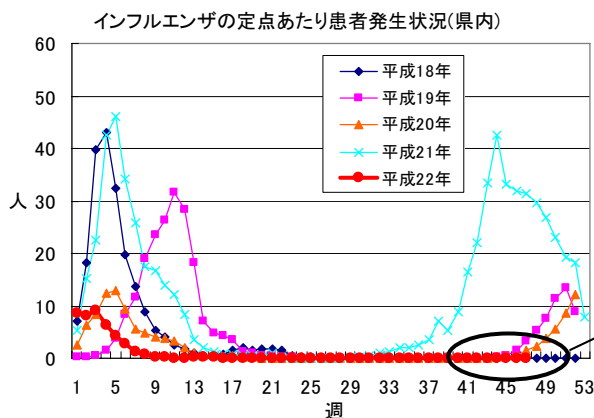
感染性胃腸炎の患者数は第43週以降増加を続けています。全国的には大流行した平成18年に次ぐ患者数と報じられていますが、兵庫県内では平成18年、19年に次ぐ患者数となっています。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



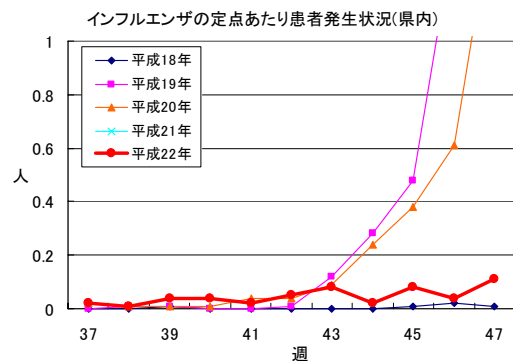
インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **0.11人**(先週は0.04人)と増加しました。まだ患者数は少ないですが、全国的には患者数の増加が続いています。インフルエンザの今後の動向にご注意ください。なお、昨年は新型インフルエンザの流行で7月中旬から患者数の増加がみられました。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスは、第28週以降では新型インフルエンザ(AH1pdm)よりA香港型(AH3亜型)の方が多くなっています。



(拡大図)



定点あたり患者数の上位10位の疾病

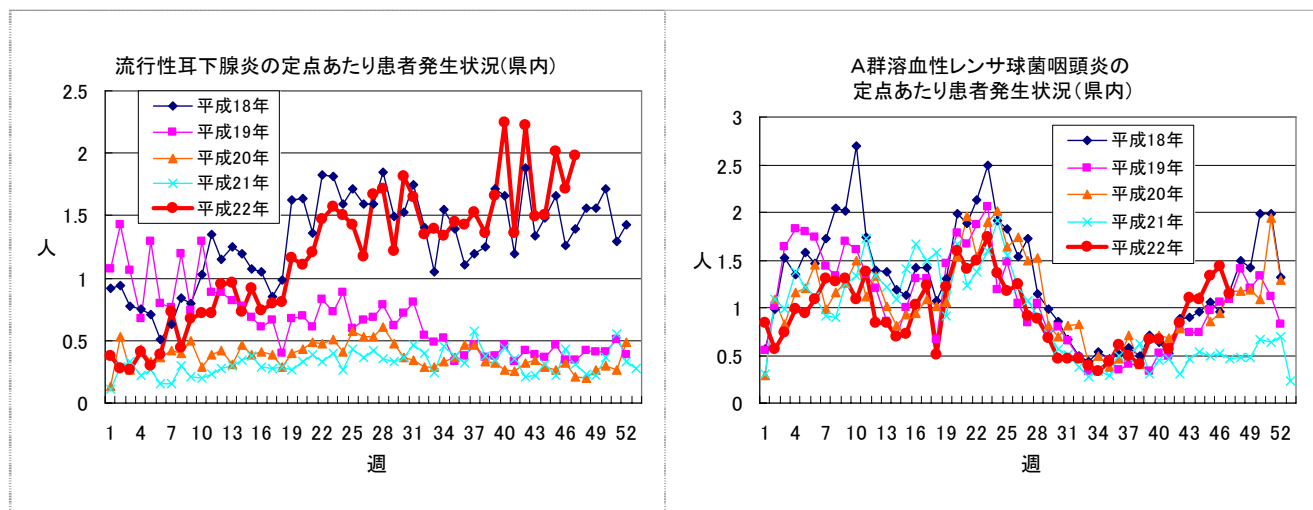
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	7.99	6.05	+1.94	6位	RSウイルス感染症	0.52	0.37	+0.15
2位	流行性耳下腺炎	1.98	1.72	+0.26		突発性発しん	0.52	0.42	+0.10
3位	水痘	1.55	1.49	+0.06	8位	咽頭結膜熱	0.49	0.51	-0.02
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.15	1.43	-0.28	9位	伝染性紅斑	0.26	0.19	+0.07
5位	流行性角結膜炎	0.54	0.26	+0.28	10位	手足口病	0.16	0.16	±0.00

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

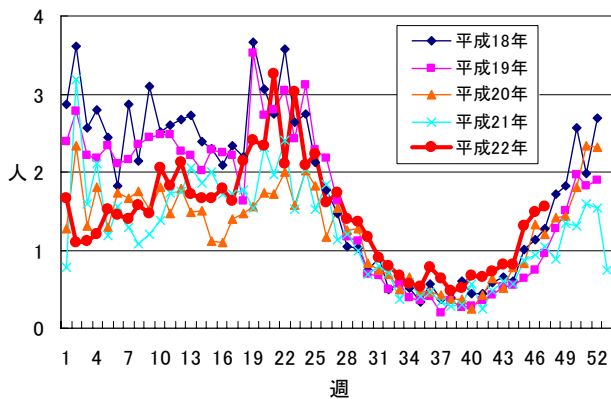
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 16名 （神戸市4名、尼崎市1名、姫路市3名、西宮市1名、伊丹保健所管内1名、宝塚保健所管内1名、加古川保健所管内4名、丹波保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 3名 （有症者3名、うちHUS1名）（神戸市；O157 VT1+VT2+ 男性50歳代、尼崎市；O157 VT型不明 HUS 女性3歳、加東保健所管内；O157 VT1+ VT2 男性4歳）（累積報告数162名；有症者107名、うちHUS2名）
4類感染症	デング熱 1名 （神戸市；男性20歳代 感染地域；国外）、 レジオネラ症 1名 （神戸市；肺炎型 男性70歳代 感染地域；国内）
5類感染症	アメーバ赤痢 1名 （神戸市；腸管アメーバ症 男性50歳代 感染地域；兵庫県）、 後天性免疫不全症候群 2名 （AIDS1名、無症候1名）（感染地域；国内1名、不明1名）（感染経路；同性間性的接触1名、不明1名）、 麻しん 1名 （加古川保健所管内；修飾麻しん（検査診断例）女性2歳）（累積報告数16名；麻しん（検査診断例1名、臨床診断例4名）、修飾麻しん（検査診断例11名））
追加報告	結核 2名 （加古川保健所管内）、 腸管出血性大腸菌感染症 1名 （神戸市；O157 VT2+ 男性20歳代）、 麻しん 1名 （加古川保健所管内；修飾麻しん（検査診断例）女性30歳代）

目で見える動向（県内）

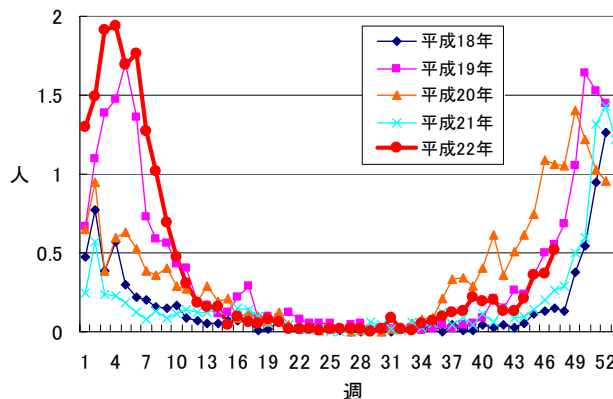
冬型の感染症の流行シーズンとなってきました。多少の増減はみられますが、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、RSウイルス感染症**などの患者数は増加してきています。



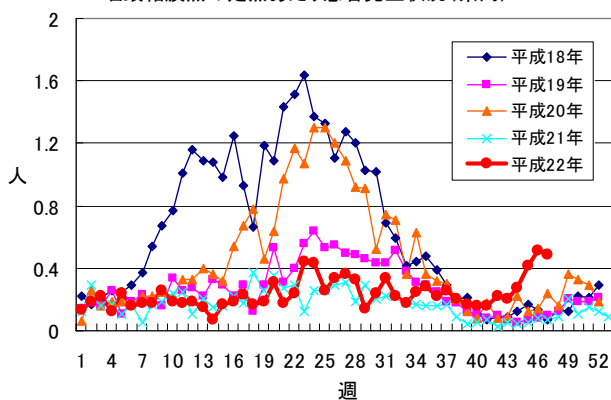
水痘の定点あたり患者発生状況(県内)



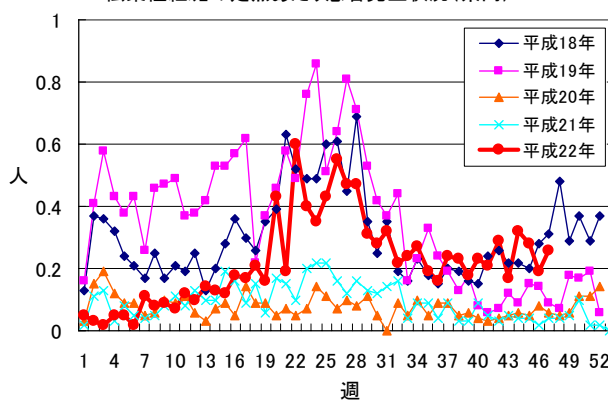
RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況(県内)



咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況(県内)



伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況(県内)



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。